

資料編

指導と評価の計画

過程	時間	主な学習活動	支援および指導上の留意点	学習活動における 具体的な評価規準 ◎関・意・態 ●思・判 □技・表 ◆知・理	評価基準			評価方法
					A (3)	B (2)	C (1)	
課題設定	4	1. 全体のテーマを知る。 2. 自分の選んだメニューについて考える。 ・好きな昼食をカードで選ぶ。 ・選んだ物、理由を書く。 ・栄養士から栄養と体の関係について話を聞く。 ・養護教諭から生活習慣病についての話を聞く。	○子どもたちが選びやすいように、近くのスーパーやコンビニ等で売っている身近な食品のカードを用意する。 ○予算内で選ぶことを意識できるように、計算枠のあるワークシートを用意する。 ○一人で計算できない児童には、教師と一緒に計算をする。 ○栄養士や養護教諭には、専門家として、食品には栄養の違いがあること、添加物の必要性と問題点食物と生活習慣病の関係について話してもらう。	◎意欲的に昼食を選び感想を持つことができる。 ◆栄養と体は関係のあることを知る。	○自分から進んで昼食を選び、毎日の感想を細かく書くことができる。 ○栄養が体の成長や生活習慣病と関係のあることが分かる。	○友だちと一緒に昼食を選び、毎日の感想を書くことができる。 ○栄養が体の成長ある生活習慣病のどちらかに関わっていることが分かる。	○友だちや教師に促されて昼食を選び、感想を持つことができる。 ○栄養が体や生活習慣病に関係していることが理解できない。	学習シート観察 学習シート観察
	2	3. 自己課題を考える。 ・ウエビングを行い、どんな課題があるか考える。 ・全体でウエビングを行い、自己課題を決定する。	○個人でウエビングした後に、集団でウエビングすることで課題が広がるようにする。	●食についての課題を考えることができる。	○食について調べてみたいことを三つ以上考えている。	○食について調べてみたいことを二つ以上考えている。	○食について調べてみたいことを一つ以上考えているか、考えることができない。	学習シート
	1	見通し 1 4. 教科等で身に付けた知識や技能を活用して活動計画を考える。 ・「あゆみシート」を用いて教科等で身に付けた学習内容を思い出す。 ・グループで活動計画を立てる。	○テーマに関連する教科等で身に付けた知識や技能を思い出すことで、それらを積極的に用いて課題解決ができるようにする。	●教科等の知識や技能を活用しながら、課題解決の計画を立てることができる。	○グループの中心になり、各教科で身に付けた学習内容と関連付けて計画を立てている。	○グループの友だちと一緒に各教科で身に付けた学習内容と関連付けて計画を立てている。	○各教科で身に付けた学習内容と関連付けて計画を立てていない。	学習シート観察
課題追究	3	見通し 2 5. グループの課題について追究する。 ・図書、聞き取り、インターネットなどによる課題追究をする。	○必要に応じて「ぐんぐんシート」を用いて、各教科の知識や技能を活用できるようにする。 ○養護教諭や栄養士、図書館補助員との連携を行い、児童の求める情報が得られるよう支援をする。	□各教科の知識や技能を活用しながら課題追究することができる。	○グループの中心になり、課題追究することができる。	○グループの友だちと一緒に課題追究することができる。	○友だちに促されながら課題追究している。	学習シート観察
	3	6. 課題追究して分かったことを一番効果的だと考えた方法でまとめる。 ・図表やポスター、紙芝居や劇などにまとめる。	○必要に応じて「ぐんぐんシート」を活用して、多様なまとめ方や発表の基本パターンを知らせる。	□調べて分かったことを目的に応じた方法で表現することができる。 □調べて分かったことの伝え方を工夫することができる。	○調べたり体験したりしたことについて、相手を意識して表現している。	○調べたり体験したりしたことについて、自分なりに表現している。	○調べたり体験したりしたことについて、友だちに促されながら表現している。	表現物観察
	2	7. 分かったことを学年の友達に発表会で知らせる。 ・発表内容、伝え方等を相互評価する。	○子どもたち同士のアドバイスの場を設定をする。	□聞き手に分かるように調べたり、体験したりしたことを発表することができる。	○聞き手を意識して、発表したり、友だちの表現を見聞きしながら、自分の課題についての考え方をさらに深めている。	○聞き手に分かるように調べたり、体験したりしたことを発表している。	○調べたり、体験したりしたことを友だちに促されながら発表している。	観察 アドバイスカード

過程	時間	主な学習活動	支援および指導上の留意点	学習活動における 具体的な評価規準 ◎関・意・態 ●思・判 □技・表 ◆知・理	評価基準			評価方法
					A (3)	B (2)	C (1)	
課題追究	5	8. 給食について追究する。 - 給食センターを見学して給食ができるまでを知る。 - 食材、献立の立て方、給食を作るときの苦労や願いについて知る。 - 食材を作っている地域の農家の方の話のビデオを視聴し、どんな願いをもって野菜を作っているのかに気付く。	- 給食センターの見学を通して、普段何気なく食べている給食がどのような人の手で、どのように作られているのかに気付くようにする。 - 栄養士の方から、どんなことを考えたり、注意したりして給食の献立を作っているのかを話してもらい、作っている人たちの願いに気付くようにする。 - 給食の食材の野菜農家の方を取材し、野菜作りへの思いを収めたビデオを撮影しておく。	給食が作られるまでを知り、関わっている人の思いに気付くことができる。	給食に関わっている方の思いや願いに自分と共通化させることができる。	給食に関わっている方の思いや願いに自分と共通化させることができる。	給食に関わっている方の思いや願いに自分と共通化させることができる。	学習シート 観察
	8	9. グループ毎に献立を考え、昼食を作る。 - 献立を立てる。 - 栄養士に診断してもらい修正する。 - 食材を選んで買う。 - 昼食を作る。 - 昼食を食べる。 - 後かたづけをする。	- 今までに学習した知識を生かして、献立を立てられるよう、栄養バランスをチェックする学習シートを用いる。 - 献立の修正は、子どもたちの考えを生かして最低限にとどめる。 - 食材選び、昼食作り、片づけは、保護者に協力してもらい、安全面に配慮する。	栄養、予算、調理法、調理時間などを考えて献立を立てている。	グループの中心になり、栄養、予算、調理法、調理時間などを考えて献立を立てている。	栄養、予算、調理法、調理時間などを考えて献立を立てている。	栄養、予算、調理法、調理時間などを考えて献立を立てている。	学習シート 観察
まとめ		見通し 3						
	1	10. 単元の振り返りをする。	「ふりかえりシート」を活用し、教科等との関連に気付くようにする。	活動を振り返り自分や友達のよさや成長、教科等の知識や技能の活用気付くことができる。	活動を振り返り自分や友達のよさや成長、教科等の学習がどうつながったのかに気付いている。	活動を振り返り自分や友達のよさや成長に気付いている。	活動を振り返り自分や友達のよさや成長に気付いている。	ふりかえり シート

展開

1 第6時 見通し1

(1) ねらい 教科等の知識や技能を思い出し、それを活用しながら、課題解決の計画を立てることができる。

(2) 準備 学習シート（あゆみシート、学習計画）、前学年までの教科書、活動の写真

(3) 展開 ◎ 関・意・態 ● 思・判 □ 技・表 ◆ 知・理

過程	学 習 活 動	支援及び留意点（※特に配慮を要する児童への支援）	時間	評価項目と方法
つかむ	1. 前時の活動を振り返り、本時の目当てをつかむ。 知っていること、できることを使って、グループの学習計画を立てよう。	○自分の調べたいテーマを思い出せるように、前時に作成したウェブマップを見せる。	5分	
追究する	2. 学習シート（あゆみシート）を用いて、テーマに関わる学習内容を思い出す。 ・あつ、ぼく知ってるよ。 ・野菜を育てたよね。 3. 思い出した学習の知識や技能がグループの課題追究をするにあたり、使えるかどうかを考える。 ・電話をして聞いてみたいな。 ・グラフを書いてみようかな。 4. グループの学習計画を立てる。 ・インタビューをして調べよう。 ・紙芝居にまとめたらどうかな。 ・家にある本を持ってくるよ。	○学習内容を思い出すことに興味を持てるように、前学年までの教科書や活動している場面の写真を見せる。  2年生の活動の写真の説明をする児童 ○テーマに関わる学習内容を覚えているかどうか、グループの課題追究にその知識や技能を使えるかどうかをチェックするために、「あゆみシート」を用いる。 ○大まかな学習の流れと活動を知らせる。 ○ぐんぐんシートを示し、調べたりまとめたりする方法には、多様なものがあることを知らせる。 ○具体的な学習の見通しを持てるよう、方法や分担を決めることを確認をする。 ☆行き詰まっている児童やグループには、話をしながら、考えを引き出していく。  ぐんぐんシートを見ながら計画を立てる児童	10分	◎テーマに関わる学習内容に意欲的に思い出すことができる。 (学習シート) (観察)
振り返る	5. 本時の学習を振り返り、次時の活動の見通しをもつ。	○次時は、計画を基にグループで課題を調べる活動をすることを知らせる。	5分	●教科等の知識や技能をどの学習過程で使えるのかを考えて課題解決の計画を立てることができる。 (学習シート) (観察)

2 第7～8時 見通し2

(1) ねらい 各教科の知識や技能を活用しながら課題追究をすることができる。

(2) 準備 ぐんぐんシート、市立図書館の本

(3) 展開 ◎ 関・意・態 ● 思・判 □ 技・表 ◆ 知・理

過程	学 習 活 動	支援及び留意点（※特に配慮を要する児童への支援）	時間	評価項目と方法
つかむ	1. 前時の活動を振り返り、本時の目当てをつかむ。 グループのテーマについて、いろいろな方法で調べよう。	○グループの学習計画を確認させ、本時の活動を明らかにする。 ○必要に応じて「ぐんぐんシート」を使って教科等の知識や技能を思い出すことを知らせる。	5分	
	2. グループの友達と協力していろいろな方法で調べる。 ・本 ・インターネット ・電話・インタビュー ・アンケート ・実験	○学校図書館では、本が限られてしまうので、市立図書館からも本を借りておく。 ○多様な方法で調べる活動ができるように、一つの方法しか考えていないグループには、「ぐんぐんシート」を紹介する。 ○インタビューや電話で話を聞けるよう、相手をリストアップし、事前に許可を得ておく。	80分	□各教科の知識や技能を活用し、適切な方法で調べることができる。(観察)

追究する	・本で調べたら分かったよ。 ・次は、インターネットで調べてみようかな。 ・分からないことがあったので、電話で聞いたよ。 3. 調べて分かったことは、メモをとったり、プリントアウトしたりして資料を集める。 ・これは、メモしておこう。 ・このデータは、グラフにしたいな。	☆資料収集が進まないグループや児童には、キーワードを変えたり、他の方法を試みたりするように助言する。  電話で話を聞くために電話番号を調べる児童	◎意欲的に資料を収集することができる。 (観察)
振り返る	3. 本時の学習を振り返り、次時の活動の見通しをもつ。	○次時は、調べたことをまとめることを知らせる。	5分

3 第9～10時 見通し2

(1) ねらい 調べて分かったことを目的に応じた方法で表現することができる。

(2) 準備 ぐんぐんシート、画用紙、模造紙、ペン、わりばし

(3) 展開

◎ 関・意・態 ● 思・判 □ 技・表 ◆ 知・理

過程	学 習 活 動	支援及び留意点 (☆特に配慮を要する児童への支援)	時間	評価項目と方法
つかむ	1. 前時の活動を振り返り、本時の目当てをつかむ。 グループのテーマについて、分かったことをまとめよう。	○グループの学習計画を確認させ、本時の活動を明らかにする。 ○聞いている人に分かりやすく伝えることを意識してまとめる活動を行うことを知らせる。	5分	
追究する	2. グループの友達と協力してまとめる。 ・新聞 ・レポート ・紙芝居 ・劇 ・ポスター 等 ・大きな新聞を作ろうかな。 ・ぼくは、劇にしたいな。 ・グラフを作ってみんなに知らせよう。	○まとめる方法をグループで確認させる。 ○前時にメモをとったり、プリントしたりした資料を基に、分担をして取り組むようにする。 ☆聞いている人に分かりやすく伝えるために、効果的な表現を工夫できるよう、グループの実態に合わせて言葉を掛ける。	80分	□調べて分かったことを目的に応じた方法で表現することができる。 (表現物) (観察)
振り返る	3. 本時の学習を振り返り、次時の活動の見通しをもつ。	○次時は、発表会の練習をすることを伝える。	5分	

4 第11～12時間目 見通し2

(1) ねらい 調べて分かったことの伝え方を工夫することができる。

(2) 準備 ぐんぐんシート

(3) 展開

◎ 関・意・態 ● 思・判 □ 技・表 ◆ 知・理

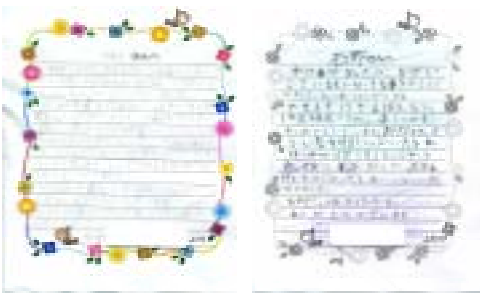
過程	学 習 活 動	支援及び留意点 (☆特に配慮を要する児童への支援)	時間	評価項目と方法
つかむ	1. 前時の活動を振り返り、本時の目当てをつかむ。 グループのテーマについて、分かったことをみんなに工夫して伝えよう。	○グループの学習計画を確認させ、本時の活動を明らかにする。 ○聞いている人に分かりやすく伝えることを意識して発表の練習をするよう伝える。	5分	
	2. グループの友達と協力して発表	○他のグループと見せ合い、より分かりやすい発		

追究する	・もう少し大きな声で発表しないと聞こえないよ。 ・この文字はもっと目立たせた方がいいね。 3. より分かりやすい表現を工夫する。 ・ここは、目立つように色を変えよう。 ・この言葉は難しいから、違う言葉に直そう。		80分	□聞き手に分かるように伝え方を工夫することができる。 (観察)
振り返る	4. 本時の学習を振り返り、次時の活動の見通しをもつ。	○次時は、発表会の練習をすることを伝える。	5分	

5 第29時 見通し3

- (1) ねらい 活動を振り返り、自分や友達のよさや成長、教科等の知識や技能の活用に気付くことができる。
(2) 準備 スライド、ふりかえりカード、手紙
(3) 展開 ◎ 関・意・態 ● 思・判 □ 技・表 ◆ 知・理

過程	学 習 活 動	支援及び留意点 (☆特に配慮を要する児童への支援)	時間	評価項目と方法
つかむ	1. 前時の活動を振り返り、本時の目当てをつかむ。 活動をふりかえろう。	○グループの学習計画を確認させ、本時の活動を明らかにする。	5分	
追究する	2. 単元全体の活動を振り返り、自己評価をする。 ・調べるときに、ぐんぐんシートを使ったらうまくできたっけな。 ・自分たちで栄養を考えて献立を立てるのは楽しかったね。 3. グループの友達のよさや成長に気付き、知らせる。 ・〇〇ちゃんは、インタビューが上手だったね。 ・〇〇君は、一生懸命に料理を作っていたよ。 4. 学習にかかわってきた人たちを振り返る。 ・栄養士さんにみんなで考えた献立をほめてもらってうれしかったな。 ・養護の先生には、栄養と運動が大切なことを教えてもらったね。 ・お母さん先生に野菜の切り方を教わったよ。	○活動中の写真をスライドショーで見せ、今までの活動を思い出せるようにする。  振り返りをする児童たち ○そのほかにもたくさんの人とかかわって来たことを思い出そうにする。	30分	●活動を振り返り、自分や友達のよさや成長、教科等の知識や技能の活用に気付くことができる。 (観察) (ふりかえりカード)
振り返る	5. 学習でお世話になった方にお礼の手紙を書く。	○手紙の中にこれからの自分の生き方を盛り込ませるようにする。	10分	



栄養士さんへの手紙

学習シート

4年さくらタイム



「見つめよう！わたしと食」

4年 組 名前



1. 給食のかわりに、好きなものを食べていいとしたら、何を食べますか。食べ物シートから選んでみましょう。ただし、300円以内とします。

	円
	円
	円
+	円
	円

+

合 計

--



2. どうしてそれを選んだのですか。

4年さくらタイム



「見つめよう！わたしと食」

4年 組 名前



1. 「食」からどんなことが思いうかびますか。

食

2. もっと調べてみたいことは、何ですか。

1.
2.
3.

4年さくらタイム



「見つめよう！わたしと食」

4年 組 名前



1. 「食」について調べよう

テーマ

--

2. グループの友だち

--

3. 計画を立てよう

月日・時間	活 動	くんぐんシート	今日の学習をふりかえって	先生から
10/4 (火) 3・4校時	《調べる》 方法： 調べるキーワード	図書室で本をさがそう インタビューをしよう インターネットで調べよう 見学・観察をしよう 電話で話を聞こう デジカメで写真を撮ろう		
10/5 (水) 3・4校時	《まとめる》 方法：	考えを発信しよう ビデオで発信しよう 表に整理をしよう レポートを書こう 新聞を書こう		
10/6 (木) 5・6校時	《まとめる》 《発表の練習をする》	よりよい文章にしましょう 調べたことを発表しよう		
10/7 (金) 3・4校時	《発表会》	話す・聞く 聞き取りメモを書こう		

4年さくらタイム



「見つめよう！わたしと食」

4年 組 名前



おいしくて、えいようバッチリの昼食を作ろう

グループのメンバー：

お母さん先生： (名)

こんだて： 1	主食
2	しるもの
3	おかず
4	そのた

こんだて	ざいりょう
1	
2	
3	
4	



あゆみシート

あゆみシート

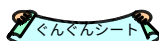
テーマ「見つめよう！わたしと食」

4年 組 名前

1. テーマに関する学習内容

学年	教科・単元	学習内容	見えている	さくらの学習で使えた
1年	国語「すきなものおしえて」	・相手によく分かるようにじゅんじゅを考 えながら話す。		
	生活「みんなにしろせたいこと」	・大事なことを落とさないように聞く。		
	生活「なにをそだてようか」	・野菜づくり（さつまいも） ・ようち園の子とおもいパーティー		
	生活「楽しい給食」	・給食の用意のしかた・配り方・えいよう		
2年	国語「今週のニュース」	・相手や目的を考えながら書く。 ・書くこととすることに必要なことがらを集めて書く。		
	生活「もうすぐ夏休み」	・かんたんな組立を考えて書く。		
	生活「どれたてのやさしい」	・野菜づくり（ミニトマト・きゅうり・なす・とうもろこし・大根・サニーレタス）		
3年	国語「インタビュー」	・インタビューの方法 ・書く必要のあることがらをしゅうしゅうしたり、せんたくしたりする。 ・まとまりごとに小見出しをつけて書く。 ・本をさがす。本の中をさがす。		
	算数「表とグラフ」	・表やばうグラフの表し方		
	理科「植物のそだち方」	・オクラやホウセンカの観察		
	保健「毎日の生活と健康」	・けんこうな体		
4年	国語「かむことの力」	・かむことの大切さ ・手紙を書くときやあて名を書くときのきまり		
	生活「新聞記者になろう」	・新聞の書き方		
	生活「伝言はまちがえず」	・電話でまちがえずに伝える方法		
	生活「伝え合うということ」	・クラスの友だちに自分の考えが分かるようにすじ道立てて話す。 ・話の中心に気をつけて聞き、自分の感想をまとめる。 ・よく聞かせる大きさやはやさで話す。		
	算数「しりょうの整理」	・表の表し方		
	理科「生き物をしらべよう」	・ツルレイシの観察		
	保健「育ちゆく体とわたし」	・成長に必要なえいよう		

ぐんぐんシート



電話で話を聞こう 4年 国語 光村上50～51ページ

「話し方」

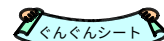
- ・場面や内容によって、**大事なことは何か**を考え、それを落とさずに伝える。（用けん、時間や場所など）
- ・**分かりやすく**伝える。（はっきり、ゆっくり、くり返して）

「聞き方」

- ・正確に聞き取り、大事なことはメモをとる。
- ・聞き取れなかったところや分らないところは、聞き返す。
- ・相手の言ったことを、自分でくり返すなどして、確かめる。

アドバイス

- 初めに、自分の学校名・学年・名前をのりましょう。
- 「わたしは、○○小学校の○年○○○です。」
- 何のために電話をかけたのかを伝えましょう。
- 例「わたしは、○○○について調べています。○○○について聞きたいことがあり、電話しました。係の方はいらっしゃいますか。」
- 係の方が出たらもう1度名をのりましょう。
- 質問を受ける時間があるかどうかをたずねましょう。
- 「何点かお聞きしたいことがあるのですが、お時間はだいじょうぶでしょうか。」
- 質問は、短く分かりやすく、ていねいな言葉づかいでしましょう。
- 最後にお礼とあいさつをお願いします。
- 「お仕事中、ありがとうございます。さようなら。」



図書室で本をさがそう 3年 国語 光村 下29～30ページ

本をさがす…調べたいことがのっている本をさがす。

【事典・図鑑】

いろいろな事からについて見出しごとに説明した本。事典は、主に言葉で、図鑑は主に絵や写真で説明している。

事典には、百科事典、人物事典などがあり、図鑑には植物図鑑、動物図鑑などがある。

【辞書・辞書】

辞書は、一つの語彙について詳しく書いてある本。題名に内容が表れていることが多い。

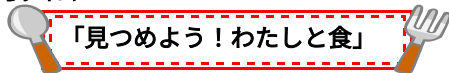
【辞書】

本の終わりにあって、その本に取り上げられている事や、人名・地名などが、どのページにあるかが分かるように整理してある。



ふりかえりシート

4年さくらタイム



4年 組 名前

ふりかえりシート

「見つめよう！わたしと食」を学習して

◇ じこひょうかをしましょう。

○たいへんよくできた ○できた △がんばろう

	活動内容	ひょうか
1	「見つめよう！わたしと食」の学習が楽しくできた。	
2	自分から進んで調べたり、作ったりできた。	
3	どんな食べ物をえらんだらよいのかわかった。	
4	自分の知りたいことを調べることができた。	
5	分かったことを友だちに知らせることができた。	
6	給食を食べるとき、えいようを考えて食べるようになった。	

◇ 「見つめようわたしと食」の学習でがんばっていた友だち

名前	がんばっていたところ

名前	がんばっていたところ

名前	がんばっていたところ

◇ 「見つめよう！わたしと食」の学習は、教科の学習のどんなことを参考にしましたか。

（さくらの学習で使った○ 使わなかった×）

学年	教科・単元	学習内容	さくらの学習で使った
1年	国語「すきなものおしえて」	・相手によく分かるようにじゅんじゅを考 えながら話す。	
	生活「みんなにしろせたいこと」	・大事なことを落とさないように聞く。	
	生活「なにをそだてようか」	・野菜づくり（さつまいも）・おもちパーティー	
	生活「楽しい給食」	・給食の用意のしかた・配り方・えいよう	
2年	国語「今週のニュース」	・相手や目的を考えながら書く。 ・書くこととすることに必要なことがらを集めて書く。	
	生活「もうすぐ夏休み」	・かんたんな組立を考えて書く。	
	生活「どれたてのやさしい」	・野菜づくり（ミニトマト・きゅうり・なす・とうもろこし・大根・サニーレタス）	
3年	国語「インタビュー」	・インタビューの方法 ・書く必要のあることがらをしゅうしゅうしたり、せんたくしたりする。 ・まとまりごとに小見出しをつけて書く。 ・本をさがす。本の中をさがす。	
	算数「表とグラフ」	・表やばうグラフの表し方	
	理科「植物のそだち方」	・オクラやホウセンカの観察	
	保健「毎日の生活と健康」	・けんこうな体	
4年	国語「かむことの力」	・かむことの大切さ ・手紙を書くときやあて名を書くときのきまり	
	生活「新聞記者になろう」	・新聞の書き方	
	生活「伝言はまちがえず」	・電話でまちがえずに伝える方法	
	生活「伝え合うということ」	・クラスの友だちに自分の考えが分かるようにすじ道立てて話す。 ・話の中心に気をつけて聞き、自分の感想をまとめる。 ・よく聞かせる大きさやはやさで話す。	
	算数「しりょうの整理」	・表の表し方	
	理科「生き物をしらべよう」	・ツルレイシの観察	
	保健「育ちゆく体とわたし」	・成長に必要なえいよう	

◇ どのぐんぐんシートを使いましたか。

（さくらの学習で使った○ 使わなかった×）

調べる学習	○・×	まとめる学習	○・×	発表	○・×
図書室で本をさがそう		考えを整理しよう		よりよい文庫にしよう	
インタビューをしよう		ビデオで発表しよう		調べたことを発表しよう	
インターネットで調べよう		表に整理しよう		話す・聞く	
ビデオ・写真などを用いて調べよう		ビデオを撮ろう		聞き取りメモを書こう	
お店で話を聞こう		新聞をよもう			
デジタルで写真をとろう					

内容系列表

桜木小学校「総合的な学習の時間」内容系列表 (№1)

領域	領域の目標	領域の内容	各学年の内容	
			小学校3・4年	小学校5・6年
国際理解	人と人との相互理解・相互交流を基本に国際化の進展に対処することができるように、日本や世界の国々の歴史や文化に関心をもち、異文化交流を通して異文化を理解し尊重し、国際社会の一員として共に生きていくことのできる資質や能力を育てる。	ア異文化理解及び異文化尊重の態度 イ共生（国際交流・協調） ウ地域や自国の歴史や伝統文化等の理解及び自己の確立 エ外国語によるコミュニケーション	ア世界の様々な国の歴史や文化に進んで親しみ、それぞれのよさに気付く。 イ様々な国のの人々と交流し、誰とでも仲良く助け合おうとすることができる。 ウ郷土の文化や先人の偉業、歴史について調べ、興味・関心をもつ。 エ外国語に興味・関心をもち、歌や言葉に親しむ。	ア世界の様々な国の歴史や文化について理解を深め、視野を広げる。 イ様々な国のの人々と交流し、それぞれの国のよさを尊重すると共に、大切にしようとする。 ウ日本の歴史や伝統、文化について学び、大切にしようとする。 エ外国語に興味・関心をもち、簡単な日常会話に慣れ親しむ。
情報	様々な学習や生活との関連において、多くの情報の中から自分に必要な情報を収集・選択し活用することができ、情報の積極的かつ責任ある発信ができる資質や能力を育てる。	ア情報収集と活用 イ責任ある情報の発信	ア課題意識をもって、必要な情報を収集・選択し、生活に役立てようとする。 イ相手の気持ちを考えた情報の発信ができる。	ア多様な情報源を用いて、目的に応じた適切な情報を収集・選択・整理し、生活に生かすことができる。 イ受け手の願いや状況、メディアの特性などを考慮し、責任ある情報の発信ができる。
環境	身近な自然に積極的にかかわり、自然のもつ豊かさや大切さに気付き、生活と環境とのかかわりについて理解を深め、自然と共生し、自分にできる方法での環境保全やよりよい環境を創造する資質や能力を育てる。	ア自然に対する感受性や環境への関心 イ環境問題と生活様式とのかかわりについての理解 ウ環境保全やよりよい環境創造のために、主体的に行動する実践的態度	ア様々な体験活動を通して、身近な自然に親しみ、自然の大切さに気付く。 イ身近な環境問題を知り、それは自分たちの生活と深くかかわりがあることが分かる。 ウ環境問題の解決や環境の保全、よりよい環境の創造を目指した地域の人々の気持ちや取組、関係機関の取組などを知り、自分にもできる方法で実践しようとする。	ア自然に対する豊かな感受性や環境に対する関心を高め自然を大切にしようとする。 イ環境問題の現状について、科学的な方法を用いてとらえると共に、自分たちの生活とのかかわりについて考える。 ウ環境問題の解決やよりよい環境創造を目指した取組が抱える構造的な問題について認識を深め、その上で、自分たちの生き方を振り返り、日常の実践に移すことができる。
福祉	自分を含め、様々な人々がそれぞれに生きがいをもって生きようとしていること、そのためにお互いに助け合っていることを理解し、より一層充実した福祉社会の実現に貢献する資質や能力を育てる。	ア他者への尊重・尊敬・思いやりなどの豊かな人間性 イ福祉にかかわる社会の特質・問題の理解と、介護・福祉などの課題についての認識 ウよりよい福祉社会実現のために、主体的に行動する実践的態度	ア身近にいる高齢者、年少者、障害者などとかかわりながら、それぞれの人の存在の大切さに気付き、温かい気持ちで接する。 イ様々な人々の置かれている社会的状況を知ると共に、身近なところに配慮や工夫があることが分かる。 ウ身近な福祉問題の解決の方法やみんなが幸せに暮らせる社会について考え、自分にもできることを実践する。	ア様々な人々とかかわりを通して人は生きがいをもって生きていることや互いに助け合っていることを理解し、他者を尊重し、思いやりをもって接する。 イ日々の生活は人々の支えや助けによって成り立っていることや福祉社会の現状や問題点を知り、福祉に対する認識を深める。 ウみんなが生き生きと充実した生活を送ることができる福祉社会とはどんなものなのかを考え、福祉問題の解決やより充実した福祉社会を実現するために自分ができる活動を進んで実践しようとする。

桜木小学校「総合的な学習の時間」内容系列表(№2)

領域	領域の目標	領域の内容	各学年の内容	
			小学校3・4年	小学校5・6年
生命・健康・食	生命のすばらしさや尊さに気づき、自他の生命を尊重する心をもったり、心身共に健康で安全な生活を営んだりすることができる資質・能力を育てる。	ア 生命を尊重し、大切にしようとする態度 イ 健康で安全な生活についての理解及び実践する能力や態度	ア 動植物の生体や生育環境に関心をもったり、自分の成長を振り返ったりする活動を通して、生命のすばらしさや大切に気づき、生命を大切にすることができるようにする。 イ 健康で安全な生活を送るために必要な基本的生活習慣の大切さに気づき、自分の健康や食生活を振り返り、よりよい習慣や態度を身に付けようとする。	ア 生命誕生の神秘を知り、自分自身の命が周りの人々とのかかわりの中で生まれ育まれてきた尊いものであることを実感し、すべての生命を慈しみ、尊重しようとする心をもつ。 イ 自分たちの生活の現状から病気やけがの予防、健康増進のメカニズムを理解し、自分の健康や食生活を見直して、よりよい生活環境を創造することができるようにする。
地域	自分たちが暮らしている地域に愛着をもち、家庭や学校を含めた地域の生活上の諸問題について理解を深め、自他を尊重しつつ、地域社会の一員としてよりよい民主的な生活の実現に意欲的、協力的に取り組もうとする資質や能力を育てる。	ア 地域の伝統・文化・行事・生活習慣・政治・経済・産業などの現状や問題点の理解 イ 地域や学校等の行事や活動、生活上の問題等の解決に向けて自他を尊重して協力的に取り組もうとする態度	ア 地域探検や地域を支える人々との交流などを通して、地域の人々の思いや願いを知ると共に、地域への関心や愛着をもつ。 イ 地域社会の一員として、地域の生活や文化等を守り、受け継ぐと共に、よりよい郷土を創るために自分たちのできることを考え、取り組む。	ア 地域の伝統、文化、歴史、産業などの特色、それらを支える人々の存在や取組を知ることを通して、郷土への愛着を深める。 イ 地域社会の一員としての自覚をもち、地域の抱える問題点を理解した上で、自分たちの地域での生活や文化を守り、発展させていくための方法を考え、取り組む。